

認定NPO法人 北海道自由が丘学園・ともに人間教育をすすめる会

(振込先:郵便局 02790-6-9847 北海道自由が丘学園をつくる会)

〒062-0051 札幌市豊平区月寒東1条15丁目5-11 TEL(011)858-1711 FAX(011)858-1333

URL <http://www12.plala.or.jp/hokjioka/> →変更:www.hokjioka.net E-mail : codmokan@agate.plala.or.jp

支援会員・寄金 3,000円 (年額)
*会員には、本通信を配布します。



《写真説明》[回顧]

「教育実践15周年」

夕張スクールから15年目
記念集会は2013年に月寒
センターで開催。その折、
先生の講話の一コマです。

■■ INDEX ■■

P1: 巻頭言/追悼文

P2-3: ↓

p4-5: 教育大釧路校

～第4回実習レポート

p6: ↓行事、食育、泊り会

p7: ↓子ども館/和菓子作

p8: (ヒューマンイラスト)

会費納入、カンパ

*鈴木先生資料/別紙

「共に学び育ちあいながら、未来を創る道へ・・・」

～ 追悼、自由が丘創始者・故鈴木秀一先生 ～

認定NPO法人北海道自由が丘学園 代表理事 吉野 正敏

2月26日、突然の訃報連絡です。啞然としました。1週前の15日には学院大富田先生の転任集會に挨拶をしていたからです。当日は車椅子でしたが、今の教育の状況や北海道における課題と併せて富田さんの足跡を何頁にもわたる文章にしてきちんと読み上げてくれました。(確かA4サイズ5-6ページあり、途中で思わず目頭を拭う参加者もいました。私も我慢しながら感慨深く聞きました。今にして遺稿/遺言だったのかと感じています)

遺族からは「在宅治療をしていた。医者から伝えられた余命を超えて正月を迎えられていた。前夜までは普通に会話し明け方に絶命。全くの家族葬にすると生前から話し合っており、自宅で野辺送りして翌日出棺とする、新聞告知は事後にしたい」との説明でした。

それを留意し数名のみに伝える際に胸が詰まりました。まだ早いのに、あの日の挨拶文の続きを聞かせてほしかったと思いながら・・・遂にこの日が来てしまいました。昨秋の退院後は居間のベッド起居する闘病生活でしたが、訪問時も大変に前向きで声にも力が入っていました。臨終間際に「歴史は変わる」^{注1)}とうわごとを言っていたとのことで、最後まで先生らしさを一貫されたようです。

本当に残念です。改めて感謝しご冥福をお祈りします。(以下、先生と呼称します) [p2-3に続く]